

環境経営レポート 2019年度版

株式会社タズミ 期間2019年4月～2020年3月

拝啓 ゴミさま

私たちに、便利で豊かな
生活を与えてくれて、
ありがとうございました。

返信

私達は、まだまだ
役に立ちたいです。
ゴミより



目次	頁
1. 組織の概要	1 - 9
2. 対象範囲	10
3. 環境経営方針	11
4. 環境目標	
4. 1 中期環境活動目標	12
4. 2 2019年度環境目標	13
5. 環境活動計画	14
6. 「プラターンの森計画」実績報告	15
7. 環境目標の実績	
7. 1 2019年度の環境目標の実績	16
7. 2 活動項目・部門毎の実績	17
7. 3 2019年度の二酸化炭素排出量・抑制量の実績	18
7. 4 処理・リサイクル実績	19
8. 取組み結果とその評価、及び次年度の取組み内容	
8. 1 環境活動計画の取組結果とその評価	20
8. 2 次年度の取組内容	21
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに、違反・訴訟等の有無	
9. 1 環境関連法規等の遵守状況	21
9. 2 違反、訴訟等の有無	21
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	22
11. その他、活動実績資料	23-28

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

- ・株式会社タズミ
- ・代表取締役 田 墨 幸 一 郎
- ・法人設立年月日 1984（昭和59）年 8月 1日

2) 所在地

- ・本社・吉岡リサイクルセンター 神奈川県綾瀬市吉岡709
- ・早川RPF工場 神奈川県綾瀬市早川2647-35
- ・早川第2工場 神奈川県綾瀬市早川2647-32
- ・早川リサイクルセンター 神奈川県綾瀬市早川2275-1
- ・プラターン海老名工場 神奈川県海老名市上郷4-2-8
- ・海老名第2工場 神奈川県海老名市上郷4丁目2710-14

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・責任者 常務取締役 田 墨 啓 治
- ・担当者 管理課主任 伊延敏和・永瀬優一
- ・連絡先 電話 0467-77-1847 FAX 0467-77-1936

4) 事業活動の内容

- ・可燃性廃棄物を原料とする再生固形燃料の製造及び販売
- ・産業廃棄物の収集及び運搬業務、処分業務(主に再資源化处理)
- ・一般廃棄物の収集及び運搬業務、処分業務(主に再生固形燃料化)
- ・資源リサイクル業(古紙・鉄くず・非鉄・アルミ・プラスチック・ガラス)

5) 事業の規模

- ・資本金 2000万円
- ・事業規模を表1に示す

表1 事業規模

活動規模	単位	2017年度	2018年度	2019年度	備考
		2017.4~2018.3	2018.4~2019.3	2019.4~2020.3	
売上高	百万円	993	1089	1232	3/未予測値
従業員	人	55	60	64	3/未予測値
事務所床面積	m ²	755	755	755	3/未時点
工場床面積	m ²	4232.7	4232.7	4232.7	3/未時点
収集運搬量	t	11,424.7	12,744	12,735	3/未時点
処理処分量	t	16,751	17,999	19,140	3/未時点

1. 組織の概要

6) 沿革

昭和40年	4月	横浜市阿久和町にて再生資源回収事業を創業する。
	12月	神奈川県綾瀬市（高座郡綾瀬町）に移転する。
昭和59年	8月	有限会社田墨商店を設立し法人化する。
	11月	神奈川県産業廃棄物収集運搬業の許可を取得する。
昭和61年	7月	綾瀬市の一般廃棄物収集運搬業の許可を取得する。
	11月	有機性廃棄物の再生利用事業を開始する。
平成 2年	11月	吉岡リサイクルセンターを開設する。
	3月	プラスチックリサイクル事業を開始する。
平成 6年	8月	代表取締役現社長田墨幸一郎が就任、創業者田墨幸夫は取締役会長に就く。
平成 7年	8月	有機性廃棄物再生利用部門が独立、法人化する。（現 有限会社サンシン）
平成11年	5月	神奈川県産業廃棄物処分業及び綾瀬市の一般廃棄物処分業の許可を取得し、早川RDF工場（現 早川RPF工場）で廃棄物の再生固形燃料製造事業を開始。
平成12年	1月	商号を株式会社タズミに改称、組織変更し、資本金を1000万円に増資する。
平成13年	4月	吉岡リサイクルセンターを産業廃棄物処理施設に追加する。
	8月	産業廃棄物処理施設設置許可を取得し、早川RDF工場の破砕能力を上げる。
平成14年	6月	再生固形燃料RDFをRPF（リサイクル・プレス・フューエル）に呼称変更する。
平成15年	7月	東京都産業廃棄物収集運搬業の許可を取得する。
	11月	再生固形燃料製造に関するISO9001認証取得（登録番号LIACA-143）
平成16年	3月	資本金を2000万円に増資する。
平成17年	8月	プラターン海老名工場の産廃・一廃の処理施設設置許可（神奈川県）及び産廃・一廃の処分業の許可（神奈川県・海老名市）を取得する。
平成18年	5月	千葉県の産業廃棄物収集運搬業の許可を取得する。
平成19年	5月	環境MSエコアクション21認証を取得（登録番号0001555）する。
平成23年	9月	茨城県の産業廃棄物収集運搬業の許可を取得する。
平成24年	2月	神奈川県産業廃棄物収集運搬業で優良認定を受ける。
	6月	静岡県産業廃棄物収集運搬業の許可を取得する。
	6月	社団法人 日本RPF工業会に入会する。
	6月	建設発生木材等再資源化指定事業者に登録される。
	7月	再生固形燃料RPFの累計販売量が100,000トンを超える。
	11月	神奈川県産業廃棄物処分業で優良認定を受ける。
	12月	東京都産業廃棄物収集運搬業で優良認定を受ける。
平成26年	11月	早川第2工場を新設し、リサイクル再生事業を拡充する。
平成28年	6月	海老名第2工場を新設。産廃処分業許可を取得し、リサイクル・燃料化事業強化。
	12月	早川第2工場で、産業廃棄物処分業の許可を取得する。
平成29年	3月	ISO9001の認証を返上し、MSをエコアクション21のみとする。
	5月	埼玉県産業廃棄物収集運搬業許可を取得する。
	6月	静岡県産業廃棄物収集運搬業で優良認定を受ける。
平成30年		RPFの生産量が月1000トンを達成する。
令和元年	5月	RPFの事業を始めて20周年となる。

1. 組織の概要

7) 受託廃棄物量

- ・受託廃棄物量を表2に示す。

表2 廃棄物等取扱量

		2017年度	2018年度	2019年度
一般廃棄物	収集運搬量(t)	2,188	2,857	1,990
	処分量(t)	3,222	3,875	3,005
産業廃棄物	収集運搬量(t)	9,237	9,886	10,745
	処分量(t)	13,530	14,124	16,135

8) 廃棄物処理料金

廃棄物の処理料金は、収集運搬や処分の方法により異なりますので、お問合せ願います（見積もり無料）。

9) 廃棄物処理に関する許可内容一覧

- ・産業廃棄物許可内容、一般廃棄物許可内容は表3に示す。

表3 許可内容 ■は優良産廃処理業者認定制度で優良認定を取得した自治体

許可内容	許可自治体	許可番号	許可年月 許可有効年月日	廃棄物の種類														特別産業廃棄物 処分するものに 該当するもの	一般廃棄物 (ごみ)					
				燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉄さい			がれき類	ばいじん			
産業廃棄物 収集運搬業	処 分 業 神奈川県	01422023601	H28年5月07日	吉岡						○	○	○	○	○	○	○	○	○						
			早川						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
			早川第2						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
			海老名						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	H35年5月06日	海老名第2						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
	収 集 業	茨城県	00801023601	平成28年09月28日 令和5年09月21日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
		埼玉県	01100023601	平成29年05月25日 令和4年05月24日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
千葉県		01200023601	平成28年05月18日 令和5年05月17日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
一般廃棄物 収集運搬業	処 分 業	海老名市	指令第 環12号	平成31年03月20日 令和3年03月31日																		○		
		綾瀬市	指令第54号	令和1年07月03日 令和3年07月03日																			○	
	収 集 運 搬 業	平塚市	収運許可第2-29号	令和2年05月01日 令和4年04月30日																			○	
		藤沢市	許可第1号 86	令和2年04月01日 令和4年03月31日																			○	
		厚木市	指令第41号	令和2年04月01日 令和4年03月31日																			○	
		大和市	許可番号第202号	令和2年04月16日 令和4年03月31日																			○	
		海老名市	指令第 環28号	令和2年04月01日 令和4年03月31日																			○	
		座間市	指令資第4-24号	令和2年04月01日 令和4年03月31日																				○
		綾瀬市	指令第12号	令和1年07月03日 令和3年07月03日																				○
		寒川町	指令環第32号	平成30年07月01日 令和2年06月30日																				○
処理施設 設置許可	許可自治体	許可番号	許可年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉄さい	がれき類	ばいじん	特別産業廃棄物 処分するものに 該当するもの	一般廃棄物 (ごみ)			
産業廃棄物	神奈川県	央七F01166号 央七F01176号(綾瀬市早川)	平成13年07月11日						○	○														
	神奈川県	央七F01454号 (海老名市上郷)	平成16年12月21日						○	○	○	○												
一般廃棄物	神奈川県	央七第2003041725741号 (綾瀬市早川)	平成15年05月26日						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
	神奈川県	央七第54361号 (海老名市上郷)	平成16年12月21日						○	○	○	○			○	○								

令和2年5月13日現在



1. 組織の概要

10) 施設の状況

10) -1 処理施設設置許可の状況を表4に示す。

表4 処理施設設置許可の状況

早川RPF工場 廃掃法第15条の2の5第1項施設 許可番号：央セFO1166号 (許可年月日：平成19年7月11日)	産業廃棄物処理施設 産業廃棄物の種類 設置場所 処理能力 許可の条件	廃プラスチック類及び木くずの破碎施設(1号機) 廃プラスチック類、木くずを含む産業廃棄物 神奈川県綾瀬市早川2647-35 16.0 t/日(廃プラスチック類単独の場合) 19.2t/日(木くず単独の場合) なし
早川RPF工場 廃掃法第15条の2の6第1項施設 許可番号：央セ第32号-109 (設置許可番号：央セFO1176号) (許可年月日：平成30年7月31日)	産業廃棄物処理施設 産業廃棄物の種類 設置場所 処理能力 許可の条件	廃プラスチック類及び木くずの破碎施設(2号機) 廃プラスチック類、木くずを含む産業廃棄物 神奈川県綾瀬市早川2647-35 16.0 t/日(廃プラスチック類単独の場合) 19.2 t/日(木くず単独の場合) なし
フラターン海老名工場 廃掃法第15条第1項施設 許可番号：央セ第FO1454号 (許可年月日：平成16年12月21日)	産業廃棄物処理施設 産業廃棄物の種類 設置場所 処理能力 許可の条件	廃プラスチック類及び木くずの破碎施設 廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず 神奈川県海老名市上郷四丁目2781番14 72 t/日(24時間・混合廃棄物) 72 t/日(24時間・廃プラスチック類のみ) 180t/日(24時間・木くずのみ) なし
早川RPF工場 廃掃法第8条第1項施設 許可番号：央セ第200304175741号 (許可年月日：平成30年9月7日)	一般廃棄物処理施設 一般廃棄物の種類 設置場所 処理能力 許可の条件	ごみ処理施設(ごみ燃料化施設) ごみ(紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣(乾燥物に限る)、ゴムくず、金属くず、廃プラスチック類)
フラターン海老名工場 廃掃法第8条第1項施設 許可番号：央セ第54361号 (許可年月日：平成16年12月21日)	一般廃棄物処理施設 一般廃棄物の種類 設置場所 処理能力 許可の条件	ごみ処理施設(ごみ燃料化施設) ごみ(廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず(ガラスくず及び陶磁器くずに限る。))

10) -2 産業廃棄物収集運搬業許可の状況

・許可の事業の範囲を表5に、運搬車両の種類及び台数を表6に示す。

表5 事業の範囲 ㊦許可自治体・内容は、表3の通り

事業の区分	収集運搬(積替え・保管を除く) 「積替え又は保管を行なう全ての所在地及び面積並びに当該場所ごとにそれぞれ積替え又は保管を行う。産業廃棄物の種類、積替えの為の保管上限及び積上げることができる高さ」は「なし」
廃棄物の種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類(一般廃棄物及び詳細は3頁 表3の通り)
許可の条件	なし

表6 運搬車両

令和2年4月末時点

車両の種類	トレーラー車	大型車	中型車	3・4トン車	2・3トン車	軽・小型車	合計
コンテナ脱着(ローダー)車		2台	2台	4台			29台
塵芥(パッカー)車				8台			
平ボディ車			2台	2台	4台		
ダンプ車		1台					
バン					1台	2台	
トラクタ+セミトレーラ	1台						

㊦車両の種類「0トン車」は積載重量ではありません。



1. 組織の概要

10) -3 廃棄物収集運搬車両の環境性能の状況

- ・導入車両の、排出ガスについては表7に、燃費については表8に示す。

表7 廃棄物収集運搬車に係る低排出ガス車の導入状況

収集運搬車の排ガスレベル	台数（比率） R2年4月末時点		【参考】台数（比率） H22年4月時点	
	全保有台数	29台	(100%)	19台
①平成15年規制適合車	1台	(3%)	1台	(5%)
②平成17年規制適合車	2台	(7%)	4台	(21%)
③平成17年基準低排出ガス車50%低減 ☆☆☆	2台	(7%)	0台	(0%)
④平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆☆	0台	(0%)	0台	(0%)
⑤平成17年基準低排出ガス（PM10%低減）重量車 ☆	2台	(7%)	2台	(11%)
⑥平成17年基準低排出ガス（Nox及びPM10%低減）重量車 ★	0台	(0%)	1台	(5%)
⑦平成22年（ポスト新長期）排出ガス車	4台	(14%)	0台	(0%)
⑧平成21年基準低排出ガス車10%低減☆☆☆	3台	(10%)	0台	(0%)
⑨平成22年基準低排出ガス車10%低減	9台	(31%)	0台	(0%)
⑩平成28年規制適合	5台	(17%)	0台	(0%)
低排出ガス車以外の車両	1台	(3%)	11台	(58%)

表8 廃棄物収集運搬車に係る低燃費車の導入状況

収集運搬車の燃費低減レベル		台数（比率） R2年4月末時点		【参考】台数（比率） H22年4月時点	
		全保有台数	29台	(100%)	19台
平成22年度燃費基準達成車	① —	0台	(0%)	1台	(5%)
	②5%低減レベル	0台	(0%)	0台	(0%)
	③10%低減レベル	0台	(0%)	0台	(0%)
	④15%低減レベル	0台	(0%)	0台	(0%)
	⑤25%低減レベル	0台	(0%)	0台	(0%)
平成27年度燃費基準達成車	⑥ —	19台	(65.5%)	2台	(11%)
	⑦ 5%低減レベル	6台	(20.7%)	0台	(0%)
	⑧10%低減レベル	2台	(6.9%)	0台	(0%)
低燃費基準達成車以外の車両		2台	(6.9%)	16台	(84%)

- ・ 車両の入れ替え・追加により、低排出ガス車及び低燃費基準車の比率が高くなっています

1. 組織の概要

10) 施設の状況

10) -4 処分量許可の状況を表9に示す。

表9 処分量許可の状況

令和2年 4月1日現在

事業の区分	中間処理（破碎、機械選別、切断、減容固化、圧縮）
廃棄物の種類	内容（別表許可参照）
中間処理施設	早川RPF工場 神奈川県綾瀬市早川2647-35
	①破碎施設 処理能力 30.72t/日（16h）：15.36 t/日(16h)×2基
	②減容固化施設 処理能力 32t/日(16h)：16t/日(16h)×2基
保管施設	合計保管面積/保管容量 417.7m ² /880.9m ³
中間処理施設	吉岡リサイクルセンター 神奈川県綾瀬市吉岡709
	③破碎施設 処理能力 3.9 t/日(8h)、木くずの場合4.9t/日(8h)
	④機械選別施設 処理能力 50t/日(10h)
	⑤切断施設 処理能力 30t/日（10h）、10 t/日(10h)×3基
保管施設	合計保管面積/保管容量 1038.0m ² /1202.6m ³
中間処理施設	プラターン海老名工場 神奈川県海老名市上郷4-2781-14
	⑥選別施設 処理能力 72 t/日(16h)
	⑦破碎施設 処理能力 72 t/日(24h)
	⑧減容固化施設 処理能力 72 t/日(24h)：36t/日(24h)×2基
保管施設	合計保管面積/保管容量 463.5m ² /1,592.6m ³
中間処理施設	海老名第2工場 神奈川県海老名市上郷4-2710-14
	⑨機械選別施設 処理能力 48t/日（16h）
	⑩圧縮施設 処理能力 54t/日（16h）
保管施設	合計保管面積/保管容量 182.0m ² /269.3m ³
中間処理施設	早川第2工場 神奈川県綾瀬市早川2647-32
	⑪機械選別施設 処理能力 138t/日（16h）
	⑫切断施設 処理能力 43t/日（16h）
保管施設	合計保管面積/保管容量 227.3m ² /362.3m ³

10) -5 処分施設の変更内容

① 処理施設の変更

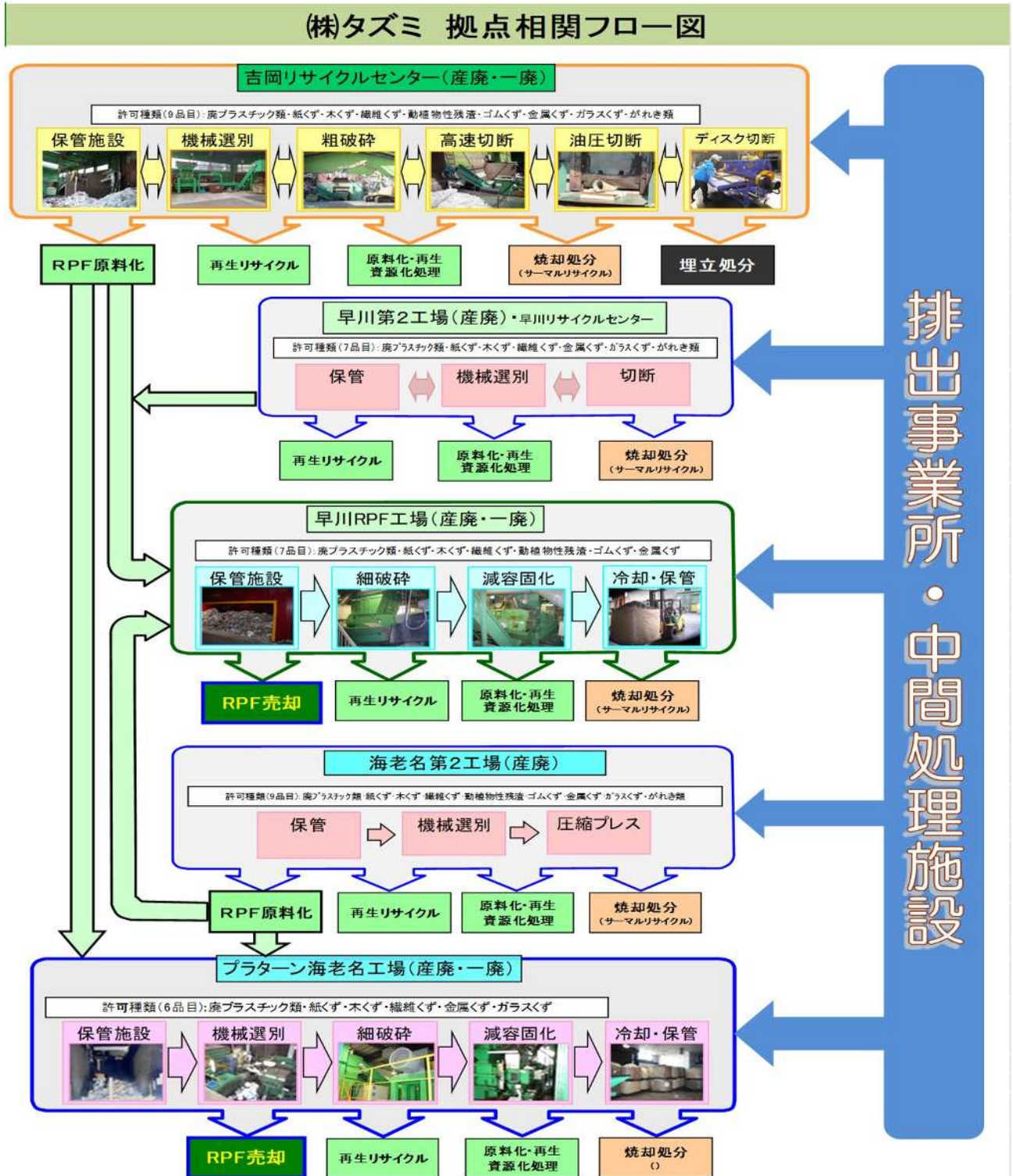
場所	更新設備	更新理由	届出月日
早川リサイクルセンター	RPF保管施設	生産出荷量増大対策として、RPFの保管場所を増設したため	8月9日

1. 組織の概要

10) -5 処分業許可の状況

a) 再生フロー処理ルートを図1に示す。

図1 再生フロー処理ルート（社内処理フロー図）



1. 組織の概要

10) -5 処分量許可の状況

b) 種類別処理フローを図2に示す。

排出事業者から処理を受託した様々な廃棄物は、お客様の要望を踏まえ、それぞれの方法で適正処理をし、再生資源化・原料化するのとは勿論のこと、処理後物も、極力リサイクルされる方法で処理を行なっている各専門業者に処理を委託し、「不要になったものを可能な限り有効活用する」ことを実践しています。

図2 再生フロー処理ルート図

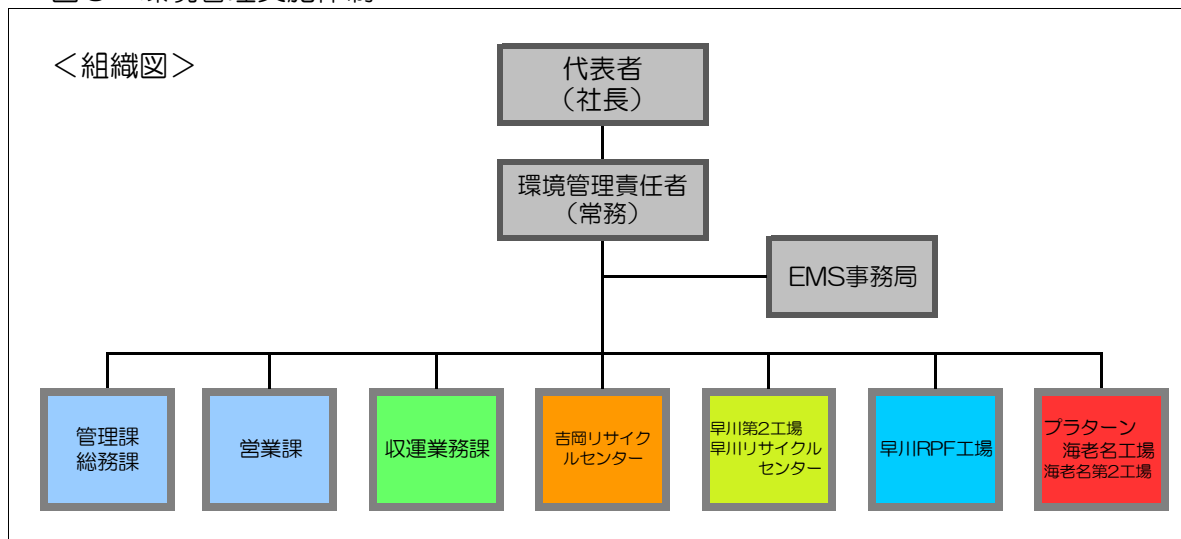


1. 組織の概要
11) 組織図

組織図を図3に示す。

図3 環境管理実施体制

2020年3月31日現在



環境経営システムに関する責任・権限は表10に示す。

表10 環境経営システムに関する責任・権限

環境経営システムに関する責任・権限	
代表者 (社長)	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の策定 3. 環境経営システム実施及び官吏に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的な見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者 (常務)	1. 環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置 2. 社長に対し、環境経営システムの実績報告 3. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施の責任者 4. 外部からの環境に関する苦情や要望の受付窓口
EMS事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EMS推進事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境活動レポートの作成
各部門長	1. 環境活動の計画・実施の部門責任者 2. 改善活動の推進
一般従業員	1. 環境活動計画に基づいた環境活動及び業務改善活動の推進

2. 対象範囲

1) 認証・登録範囲

- 本社・吉岡リサイクルセンター
 - 早川第2工場
 - 早川リサイクルセンター
 - 早川RPF工場
 - プラターン海老名工場
 - 海老名第2工場
- (所在地は、2頁「1. 組織概要 2)」に記載)

2) 認証・登録対象活動

- 産業廃棄物処分業（中間処理）
- 産業廃棄物収集運搬業
- 一般廃棄物処分業（中間処理）
- 一般廃棄物収集運搬業
- 再生固形燃料（RPF）の製造・販売
- 資源リサイクル業

3. 環境経営方針

環境経営方針

環境理念

タズミは、「不要になったものを、可能な限り有効活用する」という精神で、限りある資源の循環活用であるリサイクル事業を通して、社会貢献して参ります。

行動指針

タズミの事業の環境効果を良く理解し、その事業の推進を図り、事業活動における環境負荷低減を推進します。

1. 廃棄物の収集運搬、中間処理をはじめとする、各種サービスの提供を通して、廃棄物の削減、再利用、再資源化、省エネルギー活動及び節水等を推進します。
2. 二酸化炭素の排出抑制効果の高い廃棄物の燃料化事業を推進します。
又、この事業の意義や効果について、従業員・事業者・市民への周知啓蒙活動に努めます。
3. 環境に関連する法令・規制を遵守し、継続的に汚染の予防に努めます。
4. SDG's が目指す持続可能な将来の為に、目標を立て計画をして、事業を通して実現していきます。
5. 外的要因、内的要因による課題を十分に検証し、事業のチャンスとなるように目標を立て計画し改善に取り組みます。
6. 環境管理活動の目的・目標及び施策を活動計画の中で明らかにし、全従業員がそれぞれの役割に依じて、創意をもって環境管理活動を推進します。
7. 代表者による取組状況の評価と全体的な見直しの実施により、活動状況を確認し、改善及び是正を行い、施策を推進するとともに、環境マネジメントシステムの維持、並びに継続的改善に努めます。
8. 従業員に対する環境教育を計画的に実施し、環境保全に対する意識の向上に努めると共に、従業員一人ひとりが良き企業市民として行動します。
9. 環境経営方針は、すべての従業員に周知するとともに、環境活動レポートやホームページを通じて、社外にも公開します。

2020年 4月 1日

神奈川県綾瀬市吉岡709

株式会社 タズミ

代表取締役 田墨幸一郎

4. 環境目標

4.1 中期環境活動目標

2017年度～2019年度の中期環境目標は、2016年度のまとめ結果（マネジメントレビュー報告）及び「代表者による評価と見直し」における指摘事項を踏まえ、表11に示す通り計画した。

表11 中期環境目標

中期環境目標		2017年度目標	2018年度目標	2019年度目標
1	受託可燃廃棄物中の焼却委託比率を2019年度までに3ポイント削減する 13.1%→10.1%	2016年度比 1ポイント削減 12.1%	2016年度比 2ポイント削減 11.1%	2016年度比 3ポイント削減 10.1%
2	化石燃料由来の二酸化炭素排出量を、2019年度までに廃棄物運搬量1トン当たり排出量比を3%削減する 30.9→30.0 (kg-CO ₂ /t)	2016年度比 1%削減 (30.6以下)	2016年度比 2%削減 (30.3以下)	2016年度比 3%削減 (30.0以下)
3	電力由来の二酸化炭素排出量 ^{注1} は、2019年度までに、RPF1t生産当たり排出比を3%削減する 100.7→ 97.7 (kg-CO ₂ /t)	2016年度比 1%削減 (99.7以下)	2016年度比 2%削減 (98.7以下)	2016年度比 3%削減 (97.7以下)
4	自社廃棄物排出量を2019年度まで2016年度比で3%削減する 108kg→104.8kg	2016年度比 1%削減 (106.9以下)	2016年度比 2%削減 (105.8以下)	2016年度比 3%削減 (104.8以下)
5	事務用品購入費のグリーン購入費比率を2016年度実績の36.2%以上を維持する	36.2%以上	36.2%以上	36.2%以上

以下の3項目は、外的要因による変動要素が多く自社の活動目標としての設定は適切でないため、目標設定は行わない。ただし、環境影響度合いの高い重要項目であるため、監視項目として変化を確認し、必要があれば都度対策を実施する。

プラターンの生産量： 1200 tを目指す	計画出来ないスポット案件ではなく、安定した生産を目指した全社的な取り組みを、エコアクションとは別に計画する。処理体制の整備、具体的な増量案件の積上げ等の諸策を講じていくので、エコアクションでの活動目標とはしない
水：上水使用量を監視する	各部門とも前年度実績を踏まえ、定期的に使用量を確認し、異常が認められた場合は原因を突き止め、逐次対策を講じる
化学物質：排出量を把握する	購入塗料等に含まれるVOCの量を把握する

注1) 2017-2019中期計画より、電力排出係数は平成27年度実績、東京電力エナジーパートナー(株)の0.491kg-CO₂/kwhを使用した。そのため基準年の1トン当たり排出量も0.491を用い「100.7」とし、目標を設定した。

4. 環境目標

4.2 2019年度環境目標

2019年度（取組期間：2019年4月～2020年3月）の環境目標を表12に示す。

表12 2019年度取組目標

	項目	単位	基準値	目標値
			2016年度	2019年度
1	受託可燃廃棄物中の焼却委託比率を、2019年度までに3ポイント削減する (1) 焼却比率	%	13.1%	10.1%
2	化石燃料由来の二酸化炭素排出量を、2019年度までに廃棄物運搬量1トン当たり排出量比を3%削減する 30.9→30.0(kg-CO ₂ /t) (2) CO ₂ 排出量比	kg-CO ₂ /t	30.9	3%減の30.0以下
3	電力由来の二酸化炭素排出量注1は、2019年度までに、RPF1t生産当たり排出比を3%削減する注1) 100.7→97.7(kg-CO ₂ /t) (3) 生産量当たりのCO ₂ 排出量（電気由来）削減率	kg-CO ₂ /t	100.70	3%削減の97.7以下
4	自社廃棄物排出量を2019年度まで2016年度比で3%削減する 108kg→104.8kg (4) 自社廃棄物排出量を基準年度から1%削減する	kg	108.0	3%削減の104.8以下
5	事務用品購入費のグリーン購入費比率を2016年度実績の36.2%以上を維持する (5) グリーン購入比率	kg	36.2%	36.2%以上

注1) 2017-2019中期計画より、電力排出係数は平成27年度実績、東京電力エナジーパートナー(株)の0.491kg-CO₂/kwhを使用した。そのため基準年の1トン当たり排出量も0.491を用いて再計算して「100.7」とし、目標を設定した。

5. 環境活動計画

2019年度（2019年4月～2020年3月）の環境活動計画を表13に示す。

（活動目標値は、4.2 中期環境活動計画 表11参照）

表13 環境活動計画

活動項目	管理及び実施項目	推進部門 ^{注1)}							評価/確認方法	
		営業・管理課	運搬業務課	吉岡Rセンター	早川R第1工場	早川R第2工場	早川RPF工場	海老名第2工場		PT海老名工場
受託可燃廃棄物中の焼却委託比率の低減	作業手順・段取りの見直しによる選別作業効率の改善			◎			○	○		案毎に手順・段取りを検討・実施。月単位で燃料化率の変化で確認
	工場部門との連携による燃料化比率の向上		○	◎	○	○	○			案毎に工場側に選別品の検証を要請し、結果を確認。不具合は都度対策を取る。
化石燃料由来のCO ₂ 排出量比の低減	車両・重機類の日常・定期点検の実施	○	◎	◎	◎	○	○			日常・定期点検を計画を立て実施。結果を点検計画に反映
	エコドライブの推進と実績の監視	○	◎	○	○	○	○	○		過度な負荷の配車をせずに、エコドライブを励行。月・車両毎の燃費を確認。
	車両・重機類の効率的な燃料使用の励行	○	○	○	○	○	○	○		エコ操作の励行、月・重機ごとの燃費を確認
	高環境性能車両への更新	◎	◎		◎					車両入替時に新型車両を導入（中古等車両は導入しない）
電力由来のCO ₂ 排出量比の低減	設備・機械の日常・定期点検の実施			○	○	◎	◎			日常・定期点検を計画を立て実施。結果を点検計画に反映
	デマンド監視と効率の良い作業の実践						◎	◎		処理物の状態等に合わせ効率作業を励行。結果は日/月次の作業効率・生産性で確認
自社廃棄物排出量の低減	分別排出の実施と監視	○	○	○	○	○	○	◎		焼却向け排出物の内容物の検証とフィードバックに分別精度の向上
グリーン購入の推進	SMS導入による電子マニフェスト推進(紙マニ購入件数の削減・事務作業軽減)	◎							○	紙マニフェストの年間購入量を確認
	購買ルール運用の順守・実践								◎	購入サイトwebページ上からの購入励行。月次で購入比率を確認。

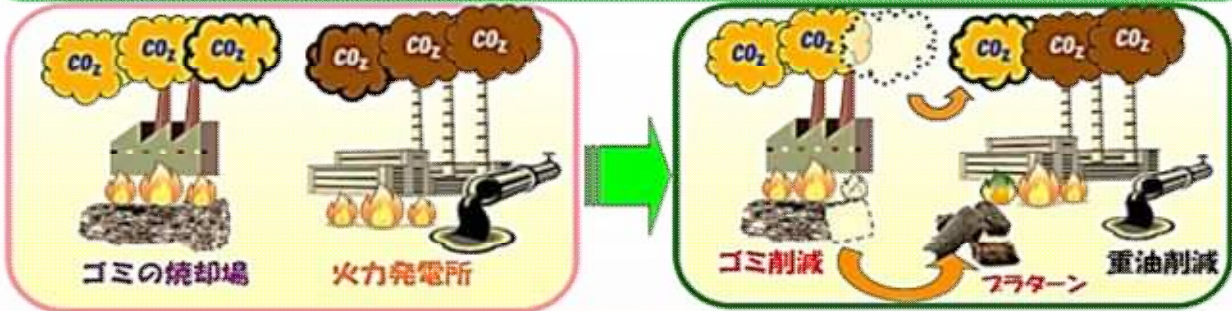
注1) ○ 活動として取り組む部門 ◎ 取組部門(○)の内、主管部門または全体結果への影響が大きい部門

6. 「プラタンの森計画」実績報告
 タズミが推進する再生固形燃料（RPF）化について

※「プラタン」は、タズミ製固形燃料の商品名です

プラタンの森計画

可燃性廃棄物燃料化事業の環境負荷低減効果の表現



排出抑制された量のCO₂を
 吸収する杉林の面積で表現

節約した重油由来分のCO₂排出を抑制

- >プラタン1トで重油700ℓ節約
- >重油700ℓから発生するCO₂は約2トン
- >プラタン1トで約2トンのCO₂排出抑制効果がある。

35年生杉
 約200本



2,100m²



直接効果

【焼却ごみのうち1トンをプラタン(再生固形燃料)に加工すると】
 その熱量は重油700ℓ分に相当します。上図の減った煙1つは、重油700ℓの燃焼で発生する約2トンのCO₂です。一方、1年間に2トンのCO₂を吸収固定する杉林の面積は約2,100m²で、その杉の本数は約200本になります。

つまり、焼却ごみから1トンのプラタンを製造・利用することは、2,100m²の杉林(200本の杉の木)を1年間保全したのと同じ効果がある事になります。この仮想の森を維持拡大することが「プラタンの森計画」であり、当社の燃料化事業の環境効果です。

2019年度の《プラタンの森》は

- ★プラタンの出荷実績：14,087トン（重油換算9,847kℓ）^⑧
- ★排出抑制されたCO₂二酸化炭素は、29,526トン-CO₂
- ★プラタンの森の広さは、29.5km²、杉の本数では295万本でした

⑧ プラタンの森では、プラタン出荷(販売)実績数量で計算していますが、環境活動では生産数量を使用しているため、森の面積やCO₂排出抑制量等で、表現数値に違いが出ます。



7. 環境目標の実績

7. 1 2019年度の環境目標の実績 環境目標の実績を表14に示す。

○：取り組み、目標達成
△：取り組んだが目標未達成
×：取り組めなかった

表14 運用結果と評価（取組期間：2019年4月～2020年3月）

項 目				基準値	2019年度		
				2016年度	目標値	実績	評価
1	受託可燃廃棄物中の焼却委託比率を、2019年度までに3ポイント削減する	焼却比率	%	13.1%	10.1%	8.9%	○
2	化石燃料由来の二酸化炭素排出量を、2019年度までに廃棄物運搬量1トン当たり排出量を3%削減する 30.9→30.0(kg-CO2/t)	CO ₂ 排出量比	kg-CO ₂ /t	30.9	30.0以下	20.5	○
3	電力由来の二酸化炭素排出量注1は、2019年度までに、RPF1t生産当たり排出比を3%削減する注1) 100.7→97.7(kg-CO2/t)	生産量当たりのCO ₂ 排出量(電気由来)削減率	kg-CO ₂ /t	100.70	3%削減(97.7以下)	88.2	○
4	自社廃棄物排出量を2019年度まで2016年度比で3%削減する 108kg→104.8kg	自社廃棄物排出量を基準年度から1%削減する	kg	108.0	3%削減(104.8以下)	77(29%減)	○
5	事務用品購入費のグリーン購入費比率を2016年度実績の36.2%以上を維持する	グリーン購入比率	%	36.2%	36.2%以上	65.6%	○

⑨ 目標未達なので「×」評価が一般的だが、当社のエコアクション21活動においては、トップ判断により目標に向けた活動を行っている場合は「△」評価としているため。

なお、二酸化炭素排出総量及び、監視三項目の確認結果を以下の通り、参考付記する

二酸化炭素排出総量	1,831,007.6kg-CO ₂
プラターンの生産量12,000tを目指す。	中国の廃プラ輸出規制により廃棄物の扱い量が増大し、プラターンを14400トン生産することが出来ました。
水は、上水使用量を監視する。	工場側の生産能力が上がり、生産量当りの使用量が減った。メンテナンス清掃時に使用量に配慮しながら削減につなげた。
化学物質排出量を把握する	設備補修用として錆止め塗料など購入しました。

7. 2 活動項目・部門毎の実績

活動項目ごとの実績を表15に示す。



表15 環境活動計画実績表

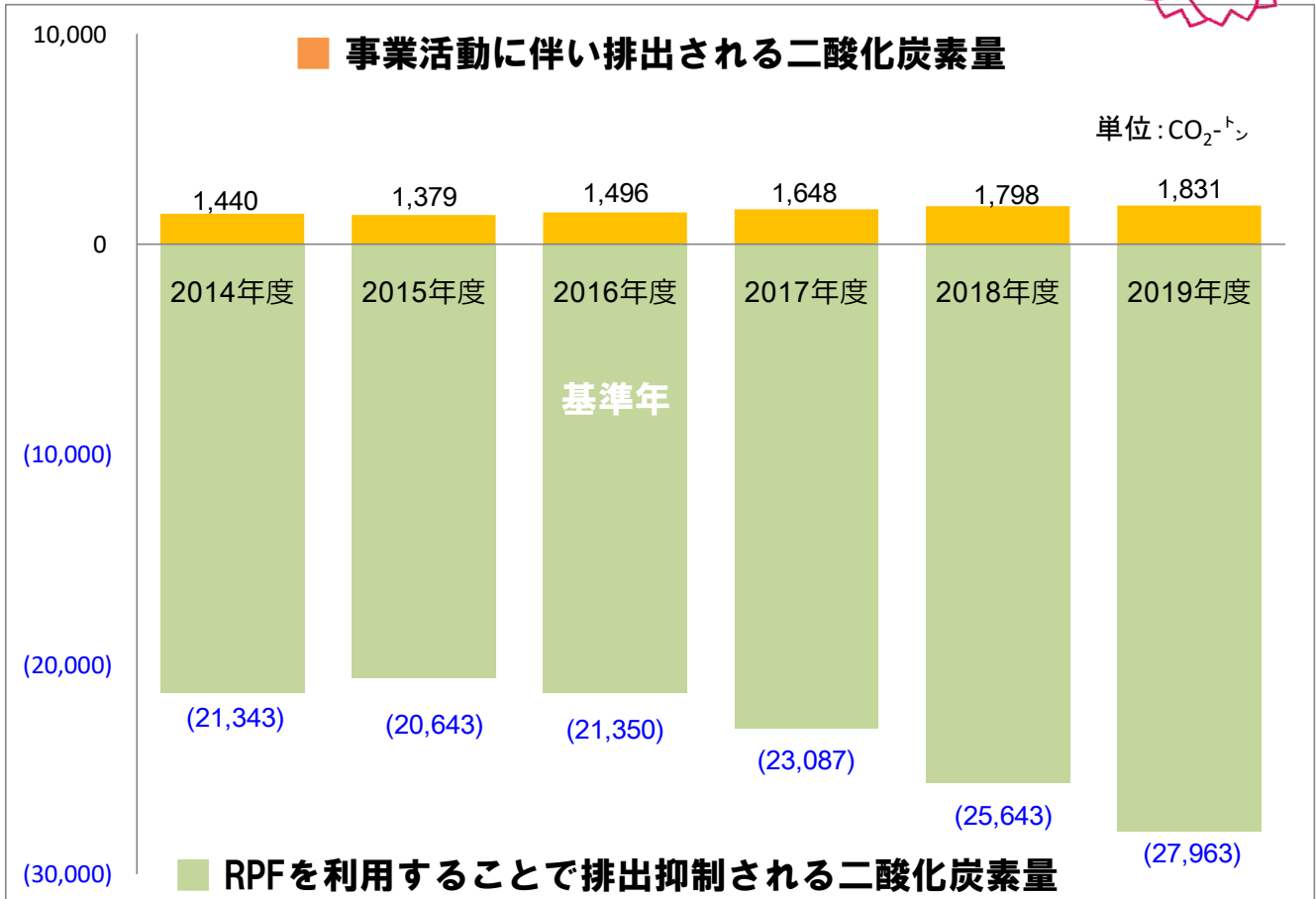
活動項目	管理及び実施項目	推進部門 ^{注1)}							実績			
		営業・管理課	運搬業務・業務課	吉岡Rセンター	早川R第1工場	早川R第2工場	早川RPF工場	海老名第2工場		PT老名工場		
受託可燃廃棄物中の焼却委託比率の低減	作業手順・段取りの見直しによる選別作業効率の改善			○			○	○	○	管理者自ら現場の課題にアプローチして作業のやり方を現場メンバーと一緒に改善した		
	工場部門との連携による燃料化比率の向上		○	○	○	○	○	○	○	隣り合わせの早川第二工場と早川工場が協力し金属解体物の廃プラ燃料化を行う		
化石燃料由来のCO ₂ 排出量比の低減	車両・重機類の日常・定期点検の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	計画通り、日常・定期点検実施し結果は記録。また不具合にもそれぞれ対応できた。		
	エコドライブの推進と実績の監視	○	○	○	○	○	○	○	○	エコドライブを実施して車両毎の燃費を監視し目標達成することが出来た		
	重機類等の効率的な燃料使用の励行	○	○	○	○	△	△	○	○	吉岡センターにおいて重機作業の見直しを行い84%削減できた。扱ひ量の増加した部署の使用量は増加となる		
	高環境性能車両への更新	○	○		○					○	車両の入替により、社内保有車の低排出ガス車・低燃費車の比率が90%になった。	
電力由来のCO ₂ 排出量比の低減	設備・機械の日常・定期点検の実施			○	○	○	○			○	計画通り、日常・定期点検を実施され結果も記録、予兆・不具合はそれぞれ対応出来た。	
	デマンド監視と効率の良い作業の実践						○	○		○	機械設備の負荷を考慮しながら原料配合を行い効率的な生産性を維持することが出来た。	
自社廃棄物排出量の低減	分別排出の実施と監視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	燃料化・資源化を意識した分別排出を行い、焼却量の削減につなげた	
グリーン購入の推進	SMS導入による電子マニフェスト推進(紙マニフェスト削減・事務作業軽減)	△								△	△	営業担当が説明資料を持って推進活動を行い、昨年度より6件の追加ができた。
	購買ルール運用の順守・実践									○	○	今年度もルール通りに運用でき、グリーン化率も維持出来た。

7.3 2019年度の二酸化炭素排出量・抑制量の実績

事業活動に伴い発生した二酸化炭素の総排出量とRPF生産^{※1}による排出抑制量^{※3}をグラフ1に示す。



グラフ1



2019年度も、9,82k ℓ ^{※2}分の重油に相当する再生固形燃料（RPF）を生産しました。

このRPFを利用してもらうことで、タズミが排出した二酸化炭素の、約15倍の二酸化炭素の排出抑制を実現することが出来ました。

※1 プラタンの森では環境負荷低減効果予測は、出荷実績を基にしているが、ここでは事業活動による排出と抑制の効果を比較するため、RPF生産量を元に算出する二酸化炭素低減量と比較する

※2 比較のため、二酸化炭素排出係数はいずれの年度も0.491を使用している

7. 4 処理・リサイクル実績

受託廃棄物の処理量と資源リサイクル量を表16に示す。

表16 受託廃棄物の処理量 及び資源リサイクル量

(単位：t)

廃棄物の種類		処分方法	2017年度	2018年度	2019年度
収集運搬量	一般廃棄物収集運搬量		2,188	2,857	1,990
	産業廃棄物収集運搬量		9,237	9,886	10,745
	収集運搬合計		11,425	12,743	12,735
中間処理 処分量	一般廃棄物処分量	固形燃料化・選別	3,222	3,875	3,005
	産業廃棄物処分量	機械選別・破碎 ・減容固化	13,530	14,124	16,135
	処分量合計		16,752	17,999	19,140
再資源化	再生固形燃料出荷量	固形燃料化量	11,595	12,879	14,088
	古紙出荷量	機械選別/再資源化	4	5	4
	鉄・非鉄原料出荷量	機械選別/再資源化	776	917	1,130
	木チップ原料出荷量	機械選別/再資源化	102	23	87
	プラスチック出荷量	機械選別/再資源化	77	94	369
	再資源化合計		12,552	13,918	15,678
資源リサイクル量	古紙類（処理後再生分含む）		1,943	2,073	2,020
	鉄原料（処理後再生分含む）		1,008	1,573	1,652
	非鉄原料（処理後再生分含む）		599	585	751
	ガラス原料（処理後再生分含む）		40	17	32
	再生プラスチック原料（処理後再生分含む）		118	137	145
コメント	<p>前回から増加した一般廃棄物のリサイクル量は市のリサイクル施設設備工事が終わったため少なくなったが、中国の廃プラスチック規制による受け皿としてタズミのRPF化を進めたことにより産業廃棄物の収集運搬量と処分量が増えました。資源のリサイクル量については扱ひ量が増えましたが、古紙は輸出規制の影響を受け、扱ひ量が減りました。</p>				

8. 取組結果とその評価、及び次年度の取組内容



8. 1 環境活動計画の取組結果とその評価

取組結果とその評価を表17に示す。

○：取り組み、目標達成

△：取り組んだが目標未達成

×：取り組めなかった

表17 環境活動計画の取組結果とその評価

項目	取組結果の評価	
受託可燃廃棄物中の焼却委託比率の低減	○	中国の廃プラスチック輸入禁止措置の影響から国内の中間処理施設（焼却施設）では高カロリーな廃プラスチックが増え、受け入れ制限や処理費の高騰を招く状況の中、弊社吉岡RC、早川第二工場とRPF化施設が連動し、焼却物から燃料化ゴミの抜き取りを実施。役員が現場の問題点を整理しながら効率的な作業改善を現場作業員と共に実施することができました。また、回収の段階から分別できるよう来期以降も全部署で活動を継続し、資源化・燃料化などの有効活用に取り組みます。
化石燃料・電力由来のCO2排出量比の低減	○	原単位目標は両項目とも目標達成となりました。電気使用量の原単位については日々の使用量を計測し監視することで適切な対応に繋がりました。特に工場側の破砕機、成型機の摩耗管理を適切に行うことにより生産能力の維持ができました。また運搬量当りの燃費については海老名市組合の容ブラ回収が効率が良く回収ができ、燃費向上に貢献できました。取引先も変動しているため引き続きルート・臭気・車両・方法を検証し、効率改善を継続していきます。
自社廃棄物排出量の低減	○	焼却廃棄物とRPF化リサイクル可能廃棄物の分別が定着しました。来期も継続していきます。
グリーン購入の推進	○	来期からは要求事項から除外するが、グリーン購入品に限らず環境負荷の少ないものを率先して購入していきます。

前回マネジメントレビューでの指摘事項に対する結果

a)	現在、償却費率の低減の努力が結果に結びついていないので、現在の作業方法（手順・段取りや配置など）の課題を洗い出し、全体的な見直しを行うこと。	* 作業方法の見直しや燃料原料への理解を深めることができ、焼却比率の提言が達成できた。 * 焼却処分：前期1,915 t・10.8%⇒今期1,703 t・8.11%
b)	次期中期計画でも「焼却率の削減」を維持して取り組んでほしいので、関わるものがこれまで以上に活動における成果を実感できるように、扱うデータの範囲や表し方などを工夫し見直しして、次期計画に織り込めるように準備すること。	* 可燃性廃棄物の焼却処分・燃料化の分別工程を担う吉岡RCでは、処分場ごとの搬出量・搬入比率の経過が検証できるようにしました。 * 焼却処分：前期1,915 t・28.1%⇒今期1,703 t・23.6% * 燃料化：前期3,423 t・49.1%⇒今期3,793 t・52.9%
c)	現場での管理力の向上に向け、PDCAサイクルを使った仕事の進め方の力をつけられるよう各報告書などを、例えば「計画・報告書」のような様式に改定し、活用を図ること。	* 毎月の部門会議を「部門名 部門計画 実績表（兼 部門会議 議事録）」として、PDCAサイクルでの計画・検証を行った。

8.2 次年度の取組内容

2020年度の環境活動目標を、表18に示す。

表18 2020年度環境活動目標一覧

	項目	単位	基準値	目標値	
			2019年度	2020年度	
1	受託可燃廃棄物中の焼却委託比率を、2022年度までに3ポイント削減する	(1) 焼却比率	%	8.9%	8.6%
2	化石燃料由来の二酸化炭素排出量を、2022年度までに廃棄物運搬量1トン当たり排出量比を3%削減する 30.9→30.0(kg-CO2/t)	(2) CO ₂ 排出量比	kg-CO ₂ /t	20.5	20.0
3	電力由来の二酸化炭素排出量注1は、2022年度までに、RPF1t生産当たり排出比を3ポイント削減する注1) 88.2→85.0(kg-CO2/t)	(3) 生産量当たりのCO ₂ 排出量(電気由来)削減率	kg-CO ₂ /t	88.20	87.00
4	自社廃棄物排出量を2022年度まで2019年度比で3%削減する 77kg→70kg	(4) 自社廃棄物排出量を基準年度から1%削減する	kg	77.0	75.00

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

9.1 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される主な環境関連法規等

- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・ 騒音規制法
- ・ 悪臭防止法
- ・ 綾瀬市環境等関連条例
- ・ 自動車NOX・PM法
- ・ 下水道法
- ・ 道路交通法
- ・ 消防法
- ・ 振動規制法
- ・ 神奈川県生活環境保全条例
- ・ 海老名市環境等関連条例
- ・ 車両制限令
- ・ 河川法(プラターン海老名工場・海老名第2工場)
- ・ 道路運送車両法
- ・ グリーン購入法
- ・ 家電リサイクル法
- ・ フロン排出抑制法
- ・ 自動車リサイクル法
- ・ オフロード法

◎改正対策：2020/4/1改正のフロン排出抑制法による罰則の強化の対策

フロンが含まれておらず、証明書がないものについては引き取らないようにする。

9.2 違反、訴訟等の有無

違反などはありませんでした。

◎軽微な指摘：RPF保管場所の看板の設置

→早川Rセンターに保管場所を追加した際、RPFの保管場所の看板を設置しようとしたが、行政確認の際、製造が間に合わず、後日看板を設置した。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

1) 全体評価

① 前回の指示への取組結果

- a) 焼却比率の低減の努力が結果に結びついていないため、手順・段取りなど作業方法の課題を洗い出し、全体的な見直しを行うこと
* 作業方法の見直しや燃料原料への理解を深めることが出来、焼却比率の低減が達成できた。
* 焼却処分：前期1,915 t・10.8%⇒今期1,703 t・8.9%
- b) 次期中期計画でも「焼却比率の低減」を継続して取り組めるよう、関わるものがこれまで以上に成果を実感できるよう、扱うデータの範囲や表し方などを見直し次期計画に織り込めるよう準備する。
* 可燃性廃棄物の焼却処分・燃料化の分別行程を担う吉岡RCでは、処分方法ごとの搬出量・搬入比率の経過が検証できるようにした。
* 焼却処分：前期1,915 t・28.1%⇒今期1,703 t・23.6%
* 燃料化：前期3423 t・49.1%⇒今期3,793 t・52.9%
- c) 現場での管理力の向上に向け、PDCAサイクルを使った仕事の進め方の力をつけられるよう各報告書等を改訂し、活用を図ること。
* 毎月の部門会議を「部門名 部門計画 実績表（兼 部門会議 議事録）」としてPDCAサイクルでの計画・検証を行った。

② 今回の評価結果及び指示内容等

- ・ 今期は、環境目標を達成し、焼却比率の低減やRPF生産量1トン当たりのCO₂排出量も削減出来ました。各部門会議で燃費など環境影響・実績データの検証や早期対応に取り組んだ成果であり感謝致します。
 - ・ 翌37期はEA21・2017年度版産業廃棄物業者向けガイドラインに切り替えるにあたり、改めて環境経営方針を作成し、事業拡大をすることで環境負荷低減に繋げるシステムを構築して参ります。
 - ・ 近年の廃棄物・リサイクル業界では、グローバルサプライチェーンが寸断され、資源物の輸出ができなくなる品目が増え、資源価格の下落や焼却処分費の高騰と事業環境は厳しい状態です。またコロナ感染による経済活動の低迷が世界的に問題になっています。このような課題が山積する状況をチャンスとして捉え、次のような事を念頭に各部門での取り組みにより、事業の発展と環境負荷低減の推進を図って頂けますようお願い致します。
- a) 焼却処分費が高騰する状況の中で、化石燃料の使用量削減とCO₂発生の削減効果が多大な「燃料化事業」の強みを再確認して、その情報発信やPR方法を検討し、また現状の作業方法などの内容や手順も検証改善をして、燃料化の増大を図ってください。
- b) 再生資源事業は相場による売買が主体で、輸出が困難となり資源相場が下落している状況下で、永年の廃棄物処分業での資源化手数料を請求できる経験を活かして、売買が困難となっている下級グレードの資源化物の扱いを増やすことで、環境面でも経営面でも大きな効果が上がる事を期待します。
- c) コロナ感染リスク対策で事業活動に支障が出ている状況をチャンスと捉え、普段では困難だった社員教育・人材育成と、作業手順書やマニュアルの改正にも継続的に取り組んで下さい。

③ 環境関連法規等の順守状況のチェック結果

法改正の情報は、省庁・行政、関係団体のホームページ、神奈川県産業資源循環協会回覧資料、神奈川県環境保全協議会会員専用情報、社外コンサルタントなどの外部からの情報等で把握し、遵守状況をチェックしました。今回は特に問題ありませんでした。

④ 外部からの環境に対する苦情や要望

(地域住民・顧客・自治体・消費者や社会の要望等も含む)
→今回は特に苦情・要望についてはありませんでした。

2) 見直し結果

- ① 環境方針の変更の必要性 ……あり
- ② 環境目標の変更の必要性 ……あり
- ③ 環境活動計画及び環境経営システム等の変更の必要性 ……あり

11. その他、活動実績資料

主な教育・訓練、緊急事態を想定した訓練実施の記録

項目	実施状況																																		
教育の実施	<p>エコアクション21 の取組を適切に実行するため、及び環境上・従業員の安全上の知識・技能向上のための社外セミナーや社内での研修等を随時開催しました。</p> <p>監督者・リーダークラスの技能向上のため、以下の外部セミナー等を受講しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">安全衛生推進者研修会</td> <td style="width: 20%;">8/30・2/14</td> <td style="width: 10%;">2名</td> <td style="width: 30%;">外部</td> </tr> <tr> <td>職長(安全衛生)教育</td> <td>10/9・10/10</td> <td>1名</td> <td>外部</td> </tr> <tr> <td>危険予知訓練 (KYT) 階層別講習会</td> <td>10/21</td> <td>1名</td> <td>外部</td> </tr> </table> <p>設備保全、適正処理や技能向上のために、必要に応じ各種技能講習・特別教育等を受講しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">自由研削といし特別講習</td> <td style="width: 20%;">2/7・3/13</td> <td style="width: 10%;">4名</td> <td style="width: 30%;">外部</td> </tr> <tr> <td>フォークリフト技能講習</td> <td>11/5~11/8</td> <td>1名</td> <td>外部</td> </tr> <tr> <td>フルハーネス型墜落制止用器具特別講習</td> <td>9/19・2/17他</td> <td>44名</td> <td>外部</td> </tr> </table> <p>※フルハーネスは随時WEB講習でも受講。</p> <p>今回廃掃法の知識を高めるため、新任研修や現場作業員にも基礎を学ぶ講習を実施しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">産業廃棄物処理法基礎講習</td> <td style="width: 20%;">7/1</td> <td style="width: 10%;">7名</td> <td style="width: 30%;">社内</td> </tr> <tr> <td>環境実務担当者信任研修</td> <td>7/3</td> <td>1名</td> <td>外部</td> </tr> </table>			安全衛生推進者研修会	8/30・2/14	2名	外部	職長(安全衛生)教育	10/9・10/10	1名	外部	危険予知訓練 (KYT) 階層別講習会	10/21	1名	外部	自由研削といし特別講習	2/7・3/13	4名	外部	フォークリフト技能講習	11/5~11/8	1名	外部	フルハーネス型墜落制止用器具特別講習	9/19・2/17他	44名	外部	産業廃棄物処理法基礎講習	7/1	7名	社内	環境実務担当者信任研修	7/3	1名	外部
	安全衛生推進者研修会	8/30・2/14	2名	外部																															
	職長(安全衛生)教育	10/9・10/10	1名	外部																															
	危険予知訓練 (KYT) 階層別講習会	10/21	1名	外部																															
	自由研削といし特別講習	2/7・3/13	4名	外部																															
	フォークリフト技能講習	11/5~11/8	1名	外部																															
	フルハーネス型墜落制止用器具特別講習	9/19・2/17他	44名	外部																															
	産業廃棄物処理法基礎講習	7/1	7名	社内																															
	環境実務担当者信任研修	7/3	1名	外部																															
	<p>社内教育では受講した人にコメントを書いてもらい、感想等評価を書いております。このコメントを次回以降の教育に反映しています。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">20 9年6月</td> <td style="width: 50%;">産業廃棄物処理法基礎コース</td> <td style="width: 30%;">氏名: []</td> </tr> <tr> <td colspan="3">受講して、わかったこと、感じたこと、改善項目などを記入してください。</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 自分が携わっている仕事の基礎知識がかなり強くなりました。 さびがあるルールや決まり事がある事を再確認 出来ました。 学入工程は実際にマニホストを扱うので間違えない様に 理解してから行います。わからない事があるときは 廃棄物処理法を確認して </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">(社名) 1号機廃掃法講習(受講者用)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">20 9年6月</td> </tr> <tr> <td colspan="3">産業廃棄物処理法基礎コース</td> </tr> <tr> <td colspan="3">氏名: []</td> </tr> <tr> <td colspan="3">受講して、わかったこと、感じたこと、改善項目などを記入してください。</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 今回の講習を受けた後、マニホストを身に取り直したの初なのでした 慣れていく中で必要法律があり、 処理の許可や受託のルールについて、わかりました クラスでは マニホストの最終処分まで出来る事を知りました </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">(社名) 1号機廃掃法講習(受講者用)</td> </tr> </table>			20 9年6月	産業廃棄物処理法基礎コース	氏名: []	受講して、わかったこと、感じたこと、改善項目などを記入してください。			自分が携わっている仕事の基礎知識がかなり強くなりました。 さびがあるルールや決まり事がある事を再確認 出来ました。 学入工程は実際にマニホストを扱うので間違えない様に 理解してから行います。わからない事があるときは 廃棄物処理法を確認して			(社名) 1号機廃掃法講習(受講者用)			20 9年6月			産業廃棄物処理法基礎コース			氏名: []			受講して、わかったこと、感じたこと、改善項目などを記入してください。			今回の講習を受けた後、マニホストを身に取り直したの初なのでした 慣れていく中で必要法律があり、 処理の許可や受託のルールについて、わかりました クラスでは マニホストの最終処分まで出来る事を知りました			(社名) 1号機廃掃法講習(受講者用)				
20 9年6月	産業廃棄物処理法基礎コース	氏名: []																																	
受講して、わかったこと、感じたこと、改善項目などを記入してください。																																			
自分が携わっている仕事の基礎知識がかなり強くなりました。 さびがあるルールや決まり事がある事を再確認 出来ました。 学入工程は実際にマニホストを扱うので間違えない様に 理解してから行います。わからない事があるときは 廃棄物処理法を確認して																																			
(社名) 1号機廃掃法講習(受講者用)																																			
20 9年6月																																			
産業廃棄物処理法基礎コース																																			
氏名: []																																			
受講して、わかったこと、感じたこと、改善項目などを記入してください。																																			
今回の講習を受けた後、マニホストを身に取り直したの初なのでした 慣れていく中で必要法律があり、 処理の許可や受託のルールについて、わかりました クラスでは マニホストの最終処分まで出来る事を知りました																																			
(社名) 1号機廃掃法講習(受講者用)																																			



項目	実施状況				
教育の実施	<p style="text-align: center;">WEB講習の実施</p> <p>今年度外部講習において現地に受講しに行くだけでなく、社内でWEB教育による講習を実施しました。現場への負担減、回収業務で中々時間が取れない作業員への教育ができ、現場作業員44名の受講ができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>フルハーネスWEB教育の様子 業務課は帰社時間が違うため個別に受講</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>実技講習は教材を見ながら着用してもらいました。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>確認テストは部署全体で行いました。</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">また、全従業員対象に、知識向上のため、研修会を実施しました。</p> <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">社内全体ハラスメント講習会</td> <td style="padding: 2px; width: 50px;">11/16</td> <td style="padding: 2px; width: 50px;">全社員</td> <td style="padding: 2px; width: 50px;">外部</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>ハラスメント講習会の様子</p> </div> </div>	社内全体ハラスメント講習会	11/16	全社員	外部
	社内全体ハラスメント講習会	11/16	全社員	外部	

11. その他、活動実績資料

主な教育・訓練、緊急事態を想定した訓練実施の記録

項目	実施状況																
<p>訓練の実施</p>	<p>エコアクション21 の取組を適切に実行するため、及び環境上・従業員の安全上の緊急事態を想定し、その対応策を定め、定期的な訓練を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="469 488 1169 640"> <tr> <td>初期消火訓練（本社）</td> <td>6/8</td> <td>17名</td> <td>社内</td> </tr> <tr> <td>初期消火訓練（業務課）</td> <td>6/8</td> <td>12名</td> <td>社内</td> </tr> <tr> <td>担架使用時の避難訓練</td> <td>9/21</td> <td>12名</td> <td>社内</td> </tr> <tr> <td>火災防災訓練（海老名）</td> <td>9/26</td> <td>12名</td> <td>社内</td> </tr> </table> <p>9月21日 担架使用時の避難訓練</p> <p>折りたたんだこの状態に、カバーをつけて保管することに決定。</p>  <p>以前の初期消火訓練の際、足の不自由な従業員の避難のため、担架を購入し用意したが、緊急時対応できるよう訓練をした。訓練してみると担架を組み立てるのに時間がかかったりするため、ある程度組み立てた状態で管理し、避難時使用することが決まりました。また避難経路の確認もみんなで再確認できた。</p> <p>9月26日 火災防災訓練</p>  <p>受入の廃棄物から出火したことを想定し、消防に通報するまでの行動を訓練をしました。訓練後、前回の課題で消火器具を実際に使用することがあったため、消防から水消火器をお借りし、実際に使う機会が少ない方をメインに使用方法など学びました。</p>	初期消火訓練（本社）	6/8	17名	社内	初期消火訓練（業務課）	6/8	12名	社内	担架使用時の避難訓練	9/21	12名	社内	火災防災訓練（海老名）	9/26	12名	社内
初期消火訓練（本社）	6/8	17名	社内														
初期消火訓練（業務課）	6/8	12名	社内														
担架使用時の避難訓練	9/21	12名	社内														
火災防災訓練（海老名）	9/26	12名	社内														
<p>エコアクション21の取り組みを適切に実行するための仕組み</p>	<p>各部門責任者の会議及び部門毎の会議の定例開催</p> <p>毎月、経営者・各部門責任者の会議（マネージャー会議）と、各部門毎の会議を計画通り実施出来ました。</p>																

11. その他、活動実績資料

設備点検・保全と環境測定の実施結果の記録

項目	実施状況																																												
設備点検・保全の実施	設備・車両等の不具合を起因とする火災、設備停止や能力・性能の低下などによる事業リスク・周辺環境への影響を低減するため、計画的な設備・車両等の定期点検、保守保全を実施しました。																																												
環境測定の実施	毎年、全ての処理施設の環境測定を実施し、周辺環境への影響が無いことを確認しています。今年度の測定でも異常は見られませんでした。																																												
	 <p>吉岡リサイクルセンター</p> <p>早川RPF工場・早川第二工場</p>																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">吉岡リサイクルセンター</th> <th>規制値</th> <th>破碎施設</th> <th>高速切断施設</th> <th>油圧切断施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>騒音</td> <td>8:00～18:00</td> <td>55dB</td> <td>54dB</td> <td>54dB</td> <td>55dB</td> </tr> <tr> <td>振動</td> <td>8:00～19:00</td> <td>65dB</td> <td>51dB</td> <td>48dB</td> <td>55dB</td> </tr> </tbody> </table>	吉岡リサイクルセンター		規制値	破碎施設	高速切断施設	油圧切断施設	騒音	8:00～18:00	55dB	54dB	54dB	55dB	振動	8:00～19:00	65dB	51dB	48dB	55dB																										
	吉岡リサイクルセンター		規制値	破碎施設	高速切断施設	油圧切断施設																																							
騒音	8:00～18:00	55dB	54dB	54dB	55dB																																								
振動	8:00～19:00	65dB	51dB	48dB	55dB																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">早川RPF工場</th> <th>規制値</th> <th>成形施設</th> <th>破碎施設</th> <th>破碎施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>騒音</td> <td>6:00～23:00</td> <td>75dB</td> <td>73dB</td> <td>66dB</td> <td>66dB</td> </tr> <tr> <td>振動</td> <td>8:00～19:00</td> <td>70dB</td> <td>63dB</td> <td>65dB</td> <td>57dB</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">臭気</td> <td>脱臭排気施設排出口</td> <td>35以下</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溜水式集塵施設排出口</td> <td>33以下</td> <td>30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>敷地境界</td> <td>15以下</td> <td>10未満</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	早川RPF工場		規制値	成形施設	破碎施設	破碎施設	騒音	6:00～23:00	75dB	73dB	66dB	66dB	振動	8:00～19:00	70dB	63dB	65dB	57dB	臭気	脱臭排気施設排出口	35以下	20			溜水式集塵施設排出口	33以下	30			敷地境界	15以下	10未満													
早川RPF工場		規制値	成形施設	破碎施設	破碎施設																																								
騒音	6:00～23:00	75dB	73dB	66dB	66dB																																								
振動	8:00～19:00	70dB	63dB	65dB	57dB																																								
臭気	脱臭排気施設排出口	35以下	20																																										
	溜水式集塵施設排出口	33以下	30																																										
	敷地境界	15以下	10未満																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">プラターン海老名工場</th> <th>規制値</th> <th>選別施設</th> <th>破碎施設</th> <th>成形施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>騒音</td> <td>6:00～23:00</td> <td>75dB</td> <td>66dB</td> <td>70dB</td> <td>66dB</td> </tr> <tr> <td>振動</td> <td>8:00～19:00</td> <td>70dB</td> <td>56dB</td> <td>62dB</td> <td>64dB</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臭気</td> <td>排出口①</td> <td>30以下</td> <td>26</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出口②</td> <td>30以下</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出口③</td> <td>30以下</td> <td>12未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排出口④</td> <td>30以下</td> <td>29</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>敷地境界</td> <td>15以下</td> <td>10未満</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 	プラターン海老名工場		規制値	選別施設	破碎施設	成形施設	騒音	6:00～23:00	75dB	66dB	70dB	66dB	振動	8:00～19:00	70dB	56dB	62dB	64dB	臭気	排出口①	30以下	26			排出口②	30以下	20			排出口③	30以下	12未満			排出口④	30以下	29				敷地境界	15以下	10未満		
プラターン海老名工場		規制値	選別施設	破碎施設	成形施設																																								
騒音	6:00～23:00	75dB	66dB	70dB	66dB																																								
振動	8:00～19:00	70dB	56dB	62dB	64dB																																								
臭気	排出口①	30以下	26																																										
	排出口②	30以下	20																																										
	排出口③	30以下	12未満																																										
	排出口④	30以下	29																																										
	敷地境界	15以下	10未満																																										
<p>プラターン海老名工場</p> <p>※海老名工場の臭気自主規制値は、県条例よりも厳しい値を設定しています</p>																																													

11. その他、活動実績資料

主な廃棄物適正処理の確認と外部コミュニケーション活動取組み結果の記録

項目	実施状況
<p>廃棄物の適正処理の確認</p>	<p>当社中間処理後残渣の処理委託先施設の現地確認</p> <p>今年度、計画17カ所中10箇所の処理委託先の現地確認を実施しました。いずれも適正に処理が行われていることが確認出来ました。昨年度は8カ所と見学場所の比率が大きいので、来期から計画を練り直して現地確認を行っていきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>J&T環境(株)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>J&T環境(株)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>高俊興業(株)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高俊興業(株)</p> </div> </div>
	<p>当社再生固形燃料利用先施設の現地確認の実施</p> <p>10月16日(水)に再生固形燃料の利用先の現地確認を開催しました。20社29名のお客様が参加、静岡県にある王子エコマテリアル富士工場の製紙工程を見学させていただきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>行政等による現地確認履歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ①神奈川県 県土整備局建設リサイクル課 ◎6/11 建設発生木材再生事業者登録更新申請による現地確認1名 : 問題・指摘事項なし ②公益社団法人日本容器包装リサイクル協会 紙事業部 ◎8/7 2019年度再生事業者現地確認2名 : 問題・指摘事項なし ③神奈川県 環境調整課 ◎12/12 RPF保管場所の追加変更届に対する現地確認 : 指摘事項あり 廃棄物保管場所の表示がなかった。RPFは有価物であるが、許可証に記載事項のことなので、廃棄物の保管場所に準じた表示を設置することのこと。 →12/18に設置。報告済み。 ④神奈川県 環境保全課 ◎12/13 フロン類重点回収事業者の実績報告に基づく現地確認 : 問題・指摘事項なし <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>

11. その他、活動実績資料

主な廃棄物適正処理の確認と外部コミュニケーション活動取組み結果の記録

項目	実施状況
	<p>●(公社)神奈川県県央地区廃棄物処理業協議会 不法投棄パトロールへの参加</p>   <p>11月11日、愛川町周辺のキャンプ場や河原、山道など不法投棄のあった場所の見回りをを行い、不法投棄されているものがないか確認しました。10月に関東を襲った大型台風の影響もあり、市の職員いわく、例年より量が少ないとのことでした。</p> 
<p>外部コミュニケーション活動の取り組み</p>	<p>●綾瀬防火協会 初期消火競技大会に参加 3年前から毎年参加し、今年度も消火器競技男性の部で優良賞をいただきました。</p>  
	<p>各環境関連基金への寄付の実施 タズミでは事業所のある自治体に、毎年売上の定率額を、用途を環境保全・緑化保全に限定して寄付をしています。今年度も、神奈川トラストみどり基金、海老名市及び綾瀬市に寄付をしました。</p>    <p>神奈川県の黒岩知事と 古塩綾瀬市長と 内野海老名市長と</p>
	<p>行政、市民、企業、各種団体の、当社施設見学の積極的な受け入れ タズミ4施設で延べ84企業・行政・市民団体など、300名の皆様に当社施設を視察・見学して頂きました。大変ありがとうございます。</p>

昨年度に引き続き、タズミの環境レポート
が優良賞をいただきました！



令和2年2月19(水) 表彰式において

このレポートに関するお問い合わせはこちら

電話：0467-77-1847 FAX：0467-77-1936 HP <http://www.tazumi.jp/> E-Mail : platum@tazumi.jp